

第5回 Debate on the Ring

2016年2月20日(土) 13:00-18:00

神戸大学統合研究拠点コンベンションホール(ポートライナー「京コンピュータ前」駅すぐ)

Session 1. 頸椎症性脊髄症(軽症例)の治療戦略 —手術適応か経過観察か—

レフリー：近畿大学医学部整形外科 講師 宮本裕史

1. 積極的に手術を施行する立場から

大阪医科大学整形外科学 教授
根尾 昌志 先生

2. 経過観察を選択肢とする立場から

神戸労災病院 院長
鷺見 正敏 先生

3. 神経内科医の立場から

中部労災病院神経内科 部長
亀山 隆 先生

Session 2. 脊柱変形手術の合併症対策 —特に脊髄麻痺発生時の対応について—

レフリー：神戸大学医学部整形外科 講師 西田康太郎

1. 慶応義塾大学での対応

慶応義塾大学医学部整形外科 教授
松本 守雄 先生

2. 名城病院での対応

名城病院脊椎脊髄センター センター長
川上 紀明 先生

3. 神戸医療センターでの対応

国立病院機構神戸医療センター 副院長
宇野 耕吉 先生

日本側弯症学会編
「側弯症治療の最前線：
手術編」
—側弯症手術の合併症と
その対策—の再現!

第5回 Debate on the Ring

2016年2月20日(土) 13:00-18:00

神戸大学 統合研究拠点コンベンションホール

(ポートライナー「京コンピュータ前」駅すぐ)

※事前申込不要

(先着300名。席に限りがありますので、遠方からお越しの際は事前にご連絡いただければ幸いです。)

※参加料 5,000円 ※日整会認定4単位取得可能(1単位 1,000円)

連絡先: NPO法人兵庫脊椎脊髄病医療振興機構

(Hyogo Organization of Spinal Disorders: HOSD)

TEL: 090-4645-4595

E-mail: hosd110301@hosd.or.jp

HP: <http://www.hosd.or.jp/>

脊椎脊髄病専門医で組織したNPO法人兵庫脊椎脊髄病医療振興機構(HOSD)とNPO法人国際頸椎学会日本機構(CSRS-J)が共催で行うDebate on the Ringの第5回を開催いたします。脊椎脊髄病疾患のトピックについて、その分野のエキスパート達に各々の得意な手術方法を用いた治療方針を供覧していただきます。また演者間で難治症例について本音のディベートを行い、その治療方法の長・短所を明らかにすることで疾患の理解を深めることを目的とします。

【プログラム(予定)】

13:00-13:10 開会の挨拶

NPO法人兵庫脊椎脊髄病医療振興機構 副理事長

国立病院機構神戸医療センター 副院長

宇野耕吉

13:10-15:10 **Session 1 頸椎症性脊髄症(軽症例)に対する治療戦略
—手術適応か経過観察か—**

15:10-15:50 Coffee break

15:50-17:50 **Session 2 脊柱変形手術の合併症対策
—特に脊髄麻痺発生時の対応について—**

17:50-18:00 閉会の挨拶

NPO法人兵庫脊椎脊髄病医療振興機構 理事長

神戸労災病院 院長

鷲見正敏